

# 第1章 古代までの日本

## 5 平安京と摂関政治

### 026 平安京と平安時代初期の政治・文化

次の文の( )にあてはまる語句や人名を答えなさい。

- (1) 貴族や僧による勢力争いが激しくなって、政治が混乱したため、( )は都を平城京から長岡京に移した。
- (2) (1)は、律令政治の立て直しをはかるため、役所の整理や( )の監督の強化を行うとともに、班田収授法が確実に行われるように努めた。
- (3) (1)は、坂上田村麻呂を( )に任命して、東北地方で独自の生活をおくり朝廷に従わなかった蝦夷とよばれる人々を討たせた。
- (4) 唐にわたって帰国した( )は、比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めた。
- (5) (4)と同じところに( )は、高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めた。

- (1) .....
- (2) .....
- (3) .....
- (4) .....
- (5) .....

### 027 藤原氏が摂政・関白となって行った政治

次の各問いに答えなさい。

- (1) たくみに他の貴族を退けていった藤原氏は、さらに勢力を拡大するために、娘を天皇の何にしたか。
- (2) 天皇が幼少のときに、藤原氏の一族がついた役職を何というか。
- (3) 天皇が成人したのちに、藤原氏の一族がついた役職を何というか。
- (4) 藤原氏の摂関政治全盛期に、自らの力の大きさを誇る、「この世をばわが世とぞ思う望月の欠けたることも無しと思えば」の歌をよんだ人物はだれか。
- (5) 摂関政治がさかんなころ、地方の政治は何にまかせきりになったか。
- (6) 勢力が急速におとろえていた唐が10世紀はじめに滅亡したのち、中国を統一したのは何という国か。
- (7) 10世紀前半に、朝鮮半島で新羅がほろんで建国されたのは何という国か。

- (1) .....
- (2) .....
- (3) .....
- (4) .....
- (5) .....
- (6) .....
- (7) .....

### 028 国風文化

次の文の( )にあてはまる語句や人名を答えなさい。

- (1) 894年に、( )は、唐の衰退と往復の危険などを理由に、遣唐使の派遣の停止を建言した。
- (2) 漢字を変形させて、日本語の発音をあらわせるようにした( )がつくられ、人々が自由に感情を表現できるようになった。
- (3) 天皇の命令により、( )らが和歌集の『古今和歌集』を編さんした。
- (4) ( )は貴族の生活を題材としてえがいた長編の『源氏物語』を書いた。
- (5) ( )は随筆『枕草子』を書き、自分の感じたことなどをつづった。
- (6) 社会の乱れや人々の不安な気持ちを背景に( )がおこり、人々は、念仏を唱えて阿弥陀仏にすがり、死後に極楽浄土に生まれかわることを願った。
- (7) 藤原頼通が宇治に建てた( )は、(6)にもとづいて建てられた阿弥陀堂の代表的なものである。

- (1) .....
- (2) .....
- (3) .....
- (4) .....
- (5) .....
- (6) .....
- (7) .....

029 年表を使った問題

次の年表の①～⑤にあてはまる語句や人名を答えなさい。

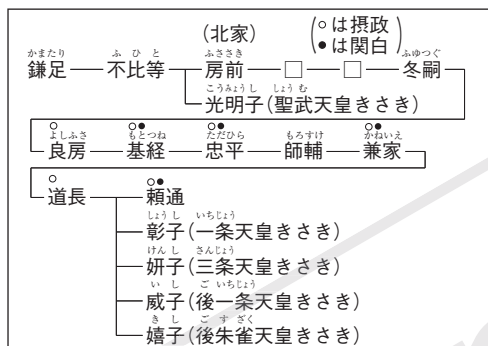
年代	できごと
794	桓武天皇が都を( ① )に移す。
797	( ② )が征夷大將軍に任命される。
805	最澄が( ③ )の教えを広める。
806	空海が( ④ )の教えを広める。
894	菅原道真の進言で( ⑤ )が停止される。

- ①[ ]
- ②[ ]
- ③[ ]
- ④[ ]
- ⑤[ ]

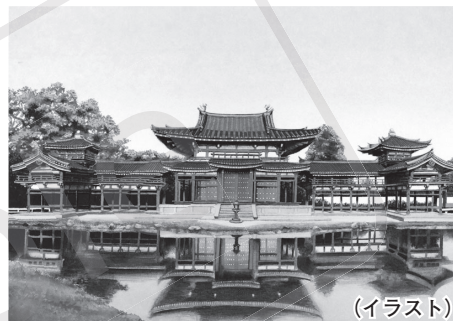
030 文章選択

次の系図や史料を見て、あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

系図



史料



(イラスト)

□(1) 系図は藤原氏のものである。これについて、正しく述べている文を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。  
[ ]

- ア 藤原氏は、他の貴族と協力しながら娘を天皇のきさきとし、その子を天皇に立てて勢力を拡大した。
- イ 藤原氏の祖である鎌足は、中臣鎌足ともいい、大化の改新で中大兄皇子に協力した。
- ウ 不比等の娘の光明子がついだ聖武天皇は、仏教によって国家の安定をはかろうとし、国ごとに国分寺・国分尼寺を建て、その中心として都に法隆寺を建てた。
- エ 藤原氏が最盛期になったのは、親子がともに摂政・関白となった、基経と忠平のころである。

□(2) 史料は京都の宇治に建てられた平等院鳳凰堂である。このころに広まった浄土信仰について、正しく述べている文を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。  
[ ]

- ア 浄土信仰は、空也や源信がわかりやすく説いたために、貴族や民衆の間に広まった。
- イ 浄土信仰とは、念仏を唱えて弥勒仏にすがり、死後に極楽浄土に生まれかわることを願う信仰である。
- ウ 平等院鳳凰堂は、藤原氏の最盛期に書院造という様式で建てられた。
- エ 浄土信仰が広まったころ、貴族を中心に唐風の文化が流行し、日本風の文化はふるわなかった。

031 文章記述

次の各問いに答えなさい。

- (1) 最澄や空海が伝えた新しい仏教の特色について、「山奥」・「修行」の語句を使い説明せよ。  
[ ]
- (2) 平安時代の中ごろからさかんになった国風文化について、「唐風の文化」の語句を使い説明せよ。  
[ ]